

**【考案の詳細な説明】****【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案は、封筒、特に簡単に再利用が可能な郵便封筒に関するものである。

**【0002】****【従来の技術】**

従来、この種の再利用郵便封筒としては、封筒を2分するための表示線分等を、印刷したものや、中蓋を利用するものが知られている（特開2000-085787及び、特開2000-043890参照）。

**【0003】****【考案が解決しようとする課題】**

従来の技術で述べたもののうち前者においては、封筒を2分して再利用封筒を作成する際、必ずはさみを使わなければならない、めんどうであり、資源の有効利用はアピールできても、再利用が推進されないという問題点を有していた。

**【0004】**

また、後者においては中蓋を折りこむのがめんどうであり、しかも型抜きが複雑なため、一度に大量に使用する封筒には向かないという問題点を有していた。

**【0005】**

本考案は、従来の技術の有するこのような問題点に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、はさみ等を使わなくても簡単に再利用できるとともに、ミシン目が目立たず外観的にも優れた、再利用可能な郵便封筒を提供しようとするものである。

**【0006】****【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成するため、本考案による再利用可能な郵便封筒は、封筒を2分するために、横に連続した切り取りミシン目と、フラップを作るための縦横に入る切り取りミシン目、そして再利用する封筒のフラップを折りやすくするためのスジで構成されている。

**【0007】**